

防御力

危険な箇所を集中的に対策し
交通事故を削減



交通安全対策

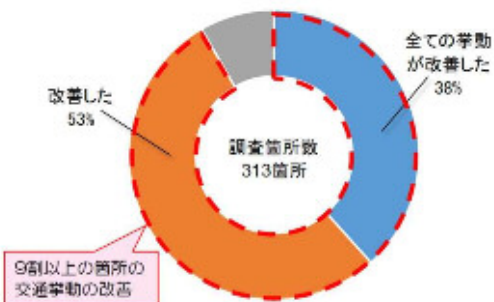
- 交通事故の発生率が高い箇所や、急ブレーキが多発する箇所などで、集中的な交通安全対策を実施！（2008～2019に494箇所）
- 交差点の改良やドライバーに注意喚起するカラー舗装を実施！
- 対策後は9割以上の交差点で交通挙動が改善し、交通事故も41%減少！

カラー舗装の実施



9割以上の箇所で、ドライバーの危険な交通挙動が改善

死傷事故件数も、対策前に比べて、41%削減



▲ 対策箇所の交通挙動改善状況 (2008～2018 対策実施箇所)



▲ 対策箇所における交通事故件数 (2008～2017 対策実施箇所・388箇所)

防御力

あらゆる関係者が流域全体で行う持続可能

「流域治水」への転換

河川事業

2017年7月14日局地的豪雨による五条川の浸水状況

●頻発、激甚化する自然災害から県民の生命と財産を守るため、「水防災意識社会」を再構築する取組をさらに一歩進め、防災・減災が主流となる社会形成を目指し、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」として水害対策に取り組んでいく。

河川管理者等が行う治水対策をこれまで以上に推進する一方、水災害リスクを軽減させる安全・安心なまちづくり、リスク情報の充実などによる避難体制の強化などの取組みを推進する。



①【氾濫をできるだけ防ぐための対策】

氾濫を防ぐ堤防等の治水施設や流域の貯留施設等の整備

→河川管理者などが行ってきた堤防整備や雨水貯留浸透施設などの整備

②【被害対象を減少させるための対策】

氾濫した場合を想定して、被害を回避するためのまちづくりや住まい方の工夫

→水災害リスクを軽減させる安全・安心なまちづくり

③【被害の軽減・早期復旧・復興のための対策】

氾濫の発生に際し、確実な避難や経済被害軽減、早期の復旧・復興のための対策

→リスク情報の充実などによる避難体制の強化

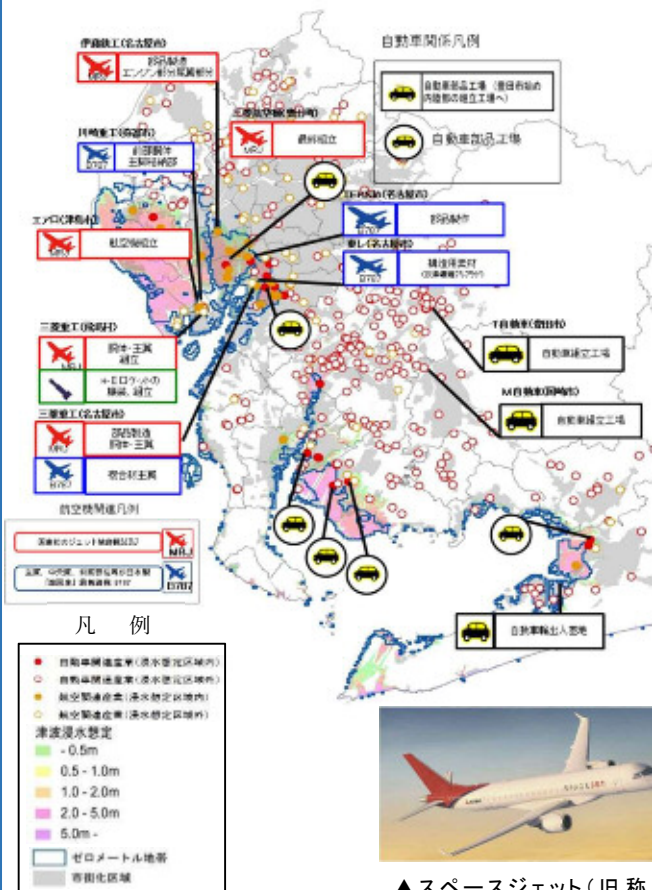
防御力

日本の未来をつくるプロジェクトを支える 愛知県の河川・海岸事業

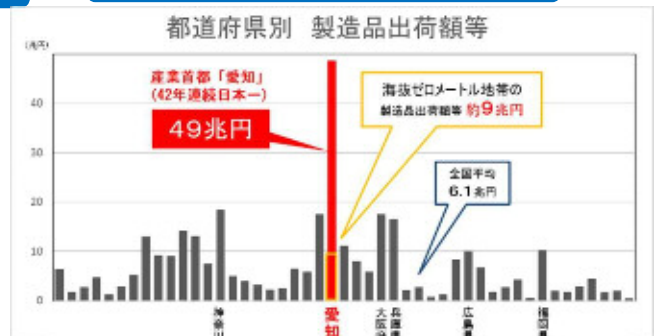


- 愛知県の製造品出荷額等は42年連続日本一！
- ゼロメートル地帯の製造品出荷額等は約9兆円！
- ゼロメートル地帯に全国・世界的にも有数の自動車・航空宇宙産業等が集積！

ゼロメートル地帯に集積する自動車・航空宇宙産業



都道府県別製造品出荷額等



生産への影響懸念を伝える報道

南海トラフ地震の被害予測についての報道
2018年6月8日 中日新聞

表1 巨大地震の被害推計

施設・用途	経済被害 (億円)		財政的被害 (億円)
	直接被害	資産被害	
総額・累計	(20兆円)	(10兆円)	(10兆円)
産業・建設	1,291.4	170.4	131.0
百貨・小売	731.4	37.1	77.0
高層	(14.9兆円)	(14.9兆円)	(14.9兆円)
工場	46.4	64.0	5.0
大規模「大高層」	46.4	64.0	7.0
中規模「大高層」	9.0	10.0	1.0
商業	(10.9兆円)	(10.9兆円)	(10.9兆円)
東京圏「巨大高層」	26.4	36.0	2.5
大阪圏「巨大高層」	7.0	6.0	0.7
名古屋圏「巨大高層」	12.4	13.0	1.5

南海トラフ被害20年で1兆円
愛知総生産6割超消失
土木学会が推計「国難」

表1 巨大地震の被害推計

土木学会「国難」をもたらす巨大災害対策について
技術検討報告書 概要より

防御力

南海トラフ地震・津波対策

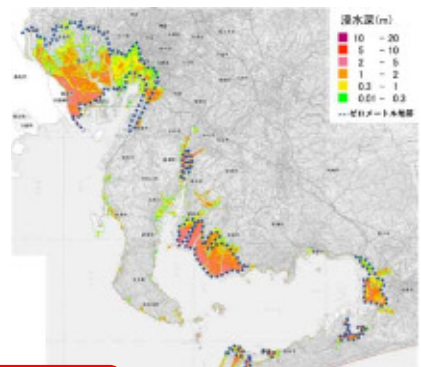
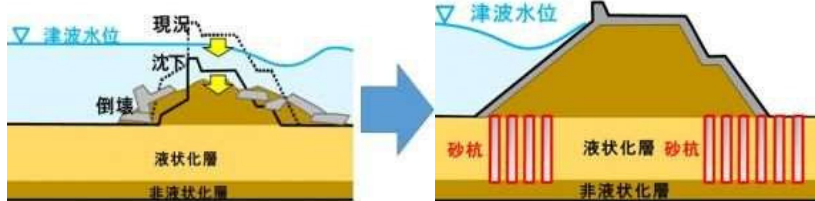


河川・海岸事業

- 我が国最大のゼロメートル地帯の命と生活を守るため、地震・津波対策を強力に推進！
- 切迫する南海トラフ地震に対する河川・海岸堤防及び排水機場・水門等の耐震化を実施し、津波を防御！

河川・海岸堤防及び排水機場・水門等の耐震化を実施

◇堤防の耐震化(イメージ)



◇水門の耐震化(事例)

耐震化された新水閘門完成により0m地帯への津波侵入を防御！



引き続き排水機場等の耐震化を行い一連防御が必要！

2019.7.30
津波災害警戒区域指定で
ソフト対策も推進



▲2019年5月31日 読売新聞

▲日光川水閘門の改築(海部郡飛鳥村)

防御力

再度災害防止のための緊急浸水対策の推進



八田川・地蔵川床上浸水対策 特別緊急事業

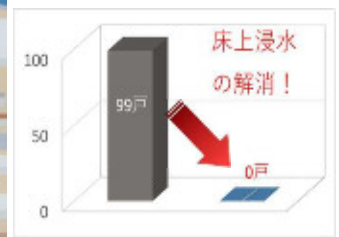
- 八田川及び地蔵川を整備し、2011年9月台風15号豪雨による床上浸水99戸を解消！
- 「ものづくり」産業構造を支えるサプライヤーを浸水被害から守る！

床上浸水対策

平成23年9月台風15号豪



緊急浸水対策後



近年、本県で最も甚大な浸水被害となったこの地域での再度災害防止対策は喫緊の課題



一中日新聞
2011年九月二十一日記事



▲急速に進む床上対策事業（名古屋市・春日井市）

防御力

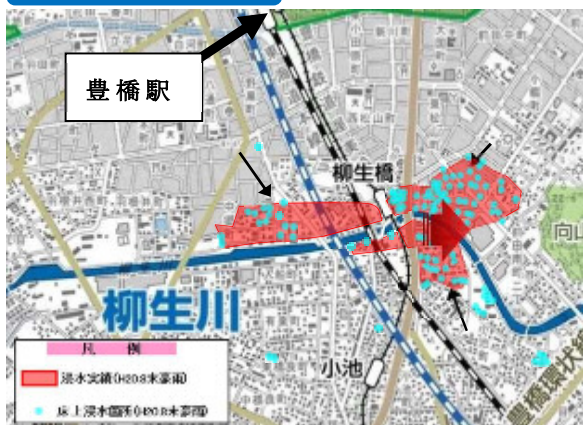
市街地における計画的な事業実施による
大規模防災施設の集中的整備



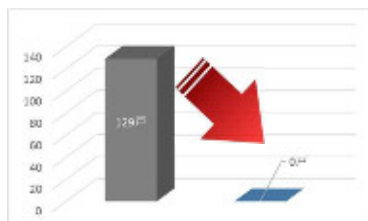
柳生川大規模特定河川事業

- 柳生川の地下河川整備により、2008年8月末豪雨による床上浸水129戸の解消！
- 主要幹線道路である国道259号や豊橋鉄道といった、重要な交通網を浸水被害から守る！

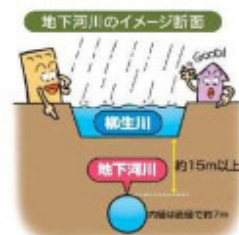
地下河川整備



【地下河川整備による効果】



床上浸水の
解消！

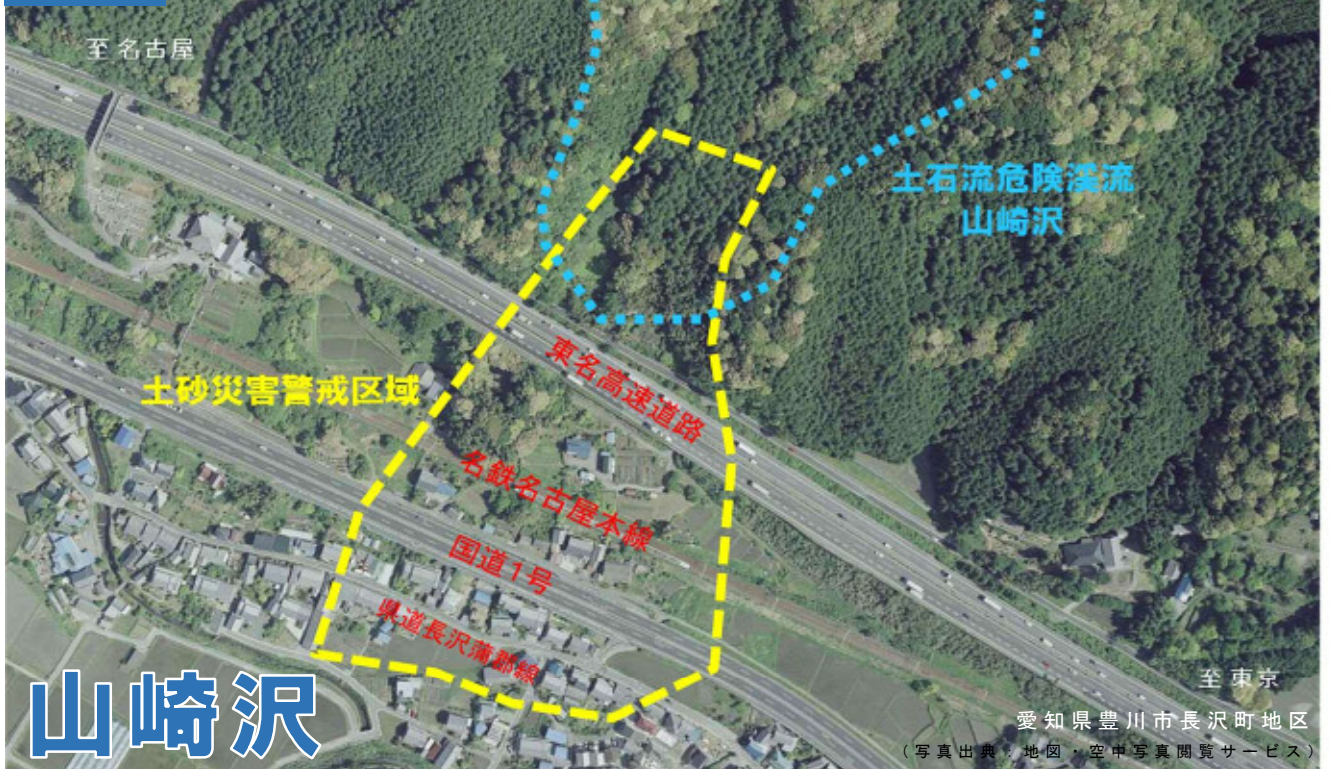


日本の物流と住民の生活を支える重要な交通網



← 中日新聞
二〇〇八年八月三十日

防御力 日本の経済活動を支える幹線交通網を保全



- 東名高速道路・国道1号・名鉄名古屋本線を土石流から保全し、経済活動を支える！
- 人家・県道など地域の生活を土石流から守る！



日本の経済を支える交通の大動脈



▲ 東名高速道路
(日交通量約 89 千台)



▲ 名鉄名古屋本線
(日輸送量約 45 千人)



▲ 国道1号 (日交通量約 43 千台)



▲ 位置図

防 御 力

要配慮者利用施設を土石災害から守る



- 土石流から要配慮者利用施設である「大草こども園」を守る！
- 緊急時輸送道路である国道419号を土石流から保全する。



要配慮者利用施設

